


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・社長自らが、会社のあるべき姿について従業員に説明し、社内で共有している。 ・毎朝のミーティングや、月に1回の会議にて「無駄を省く」「効率よく」「安全第一」等の社長の方針を従業員に伝えている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社長自ら法令遵守の重要性について、毎朝のミーティングにて社員に向けて発信している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先との対話の中で、不当な値引き圧力がないかを確認している。 ・価格変動の通知があった際には通達にて従業員に都度共有している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自らの事業活動が、社会や環境に対し及ぼす正と負の影響を把握し、活動を行っている。 ・SDGs委員会参加者3名を社会・環境問題担当者に任命している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する勉強会を、社長自ら社員に対し行っている。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の取扱いについてはデータ化し、厳重に管理している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・各取引先とのコミュニケーションを大切にし、通達やWEB会議等にて業務進捗状況、資源価格の情報、新しいリサイクル技術の動向等について情報共有をし、意見・要望等を互いにヒアリングしながら、日々事業活動を行っている。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先と廃棄物が環境に与える影響等、環境問題に関する認識をWEB会議や文書等で情報共有することにより取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・経済産業省の事業継続力強化計画制度に認定されている。										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9								17
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内では差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・外国人の従業員が多いことから、国籍や性別にとらわれず、様々な意見を聞くことにより、差別をしない体制を整えている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・重機を使用する業務が主となる為、業務中の安全第一に取り組んでいる。 ・重機に乗りオペレーションする担当者、指示する担当者との声かけ・合図・アイコンタクトを徹底し、事故防止に取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に則り、従業員の意見を積極的に聞き、コミュニケーションを図りつつ、昇給等においても国籍、性別、年齢等にとられない公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・基本的には残業は行わず、従業員の働きやすい環境を整備している。 ・家庭の事情等による休暇取得(時間休暇も含む)も、可能な勤務体制を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・業務に必要な資格に関しては、費用を会社にて負担している。 ・現場での機器操作の指導については先輩従業員が丁寧にを行う等、OJTの体制を整えている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年に1回会社にて検診費用を負担し、健康診断を実施している。 ・熱中症対策として、作業時に従業員へスポーツドリンクの配布を行っている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・国籍や性別にとらわれず、差別をしない体制を整えている。 ・外国人雇用の促進を行っている。 ・外国人の従業員に対する日本語勉強会を実施している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・社長を中心として取引先とWEB会議を行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	・熊本県プライト企業に認定されている。				3	4				8	9			12					



